

## 第1回幼児体験学習を行いました



6月20日、今年度1回目となる幼児体験学習を行いました。

外部から4名の参加があり、在籍の幼児と一緒に楽しみました。

保護者の皆さんは、保育の授業参観をしたり、幼稚部・教育相談の説明を聞いたり、保護者同士の情報交換をするなどして過ごした半日でした。

幼児の活動として、合同保育を体育館で行いました。絵本（パネルシアター）の読み聞かせをした後、夜店屋さんごっこを楽しみました。

夜店屋さんの中で初披露のゲームは、「スーパーもぐらたたき」です。もぐらにふんした先生が、穴から顔を出し、子ども達がおもちゃのハンマーで叩くというもぐら叩きのリアル版ゲームです。途中で、「もぐらヘルメット」をかぶる幼児さんもおられ、みんなで交代しながら楽しみました。また、お化け屋敷のコーナーから乱入してきたおばけも顔を出して、みんなをびっくりさせていました。

途中で、綿あめやかき氷も食べ、みんなで仲良く過ごした幼児体験学習になりました。



## 社会体験部の活動

本校の「社会体験部」は、令和2年に部として発足し、今年で5年目になります。これまで、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に向けて、高等部生徒全員で活動を行ってきました。今年度から希望者のみの参加となり、5名の生徒が入部しています。

活動の中心である「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」は、今年度、済美平成中等教育学校との合同チームで、お互いに意見を交換し学びを深めながら全国大会を目指しています。そして、2学期以降は、新たな活動として、ヤンボラ（ヤングボランティアセンター）を通じた他校との手話交流や、手話パフォーマンス甲子園以外のコンクールへの参加に向けた取組も行い、手話を通して『社会とつながり、社会に働きかける体験』を行っていきたいと考えています。

## 第1回学校公開を開催しました！

6月15日（土）に、第1回学校公開を開催しました。当日は、外部から29名の方々に参加いただき、幼稚部から高等部までの保育や授業の様子を参観いただきました。

午後からは、聴覚障がいの理解や難聴体験、簡単な手話や指文字体験のミニ講座を開講し、地域の学校の先生方や高校生に参加いただきました。今後も本校教育や聴覚障がい者の理解を上げていくことを目指して開催していきます。

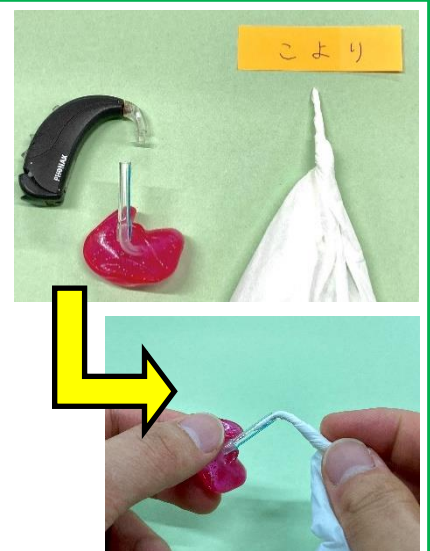
今年度の予定 第2回学校公開 11月9日（土）、第3回学校公開 1月18日（土）



## 補聴器や人工内耳の手入れをしましょう

暑い季節になり、毎日汗をたくさんかくようになってきていると思います。毎年、このような時期には、汗によって補聴器や人工内耳が故障する可能性が高くなります。補聴器や人工内耳の故障を防ぐためにも、以下のことに気を付けて、毎日の手入れ（メンテナンス）を欠かさないようにしましょう。

- 汗をかいたら、体だけでなく補聴器や人工内耳も拭く。
- 家や学校にある乾燥機にかけたり、ケースに入れて乾燥させたりする。
- イヤモールドに耳垢がたまっていないか確認する。
- チューブの中に水滴がたまったときには、こよりを作って水滴をとる。（写真のようにします。）



## 法廷内に公費負担で手話通訳が配置されることに

### ～ 旧優生保護法訴訟判決(最高裁)～

旧優生保護法（1948～96年）のもとで不妊手術を強制されたのは憲法違反だとして、全国の障がい者らが国に対して損害賠償を求めた訴訟の上告審で、最高裁は7月3日に開廷される大法廷判決で、傍聴人向けの手話通訳を公費負担で配置すると公表しました。多くの聴覚障がい者の傍聴が見込まれるため、全国初の対応となります。手話通訳に限らず、法廷内の計6台の大型モニターにも、裁判長の発言や、判決理由の概要も写される予定です。

これをきっかけに、地方裁判所や高等裁判所への波及効果はもちろん、原告及び被告ら当事者にも公費負担で手話通訳を含む要約筆記などの情報保障がなされるかもしれませんね。

